

8812 この間、帰宅しようとして、東京駅から・・・

この間、帰宅しようとして、東京駅から中央線の三鷹行きの始発に乗り、発車を待っていると、リュックサックを背負った若者が飛び込んで来て、私の筋向こうに掛けて本を読んでいる老人に、

「この電車、品川へ行く？」と聞いた。

老人は本から顔をあげて、

「これは三鷹行き。品川はあっちだ」と指すと、

「ほんと？」と叫んで飛び出していった。

そのうしろ姿に目をやって、老人は、

「人がせっかく教えてやったのに、うたがっている」と呟いた。

宇野信夫『うつくしい言葉』

#### [許容訳例]

The other day, on my way home, I got on a Chuo line train for Mitaka at Tokyo station, where the line starts, and was waiting for it to start when a young man carrying a rucksack on his back came rushing in and said to an old man who was reading in a seat diagonally opposite, "Does this train go to Shinagawa?"

Looking up from his book, the old man pointed a finger and said, "This train is for Mitaka. The train for Shinagawa starts over there."

"Really?" shouted the young man, rushing out again.

Gazing after him, the old man muttered, "I was kind enough to tell him the train, but he doubted me."

#### [翻訳例]

The other day on my way home I got on a Chuo line train for Mitaka at Tokyo station, where the line begins, and was waiting for the train to start when a young man with a rucksack on his back rushed into the car and asked an elderly man who was reading a book in a seat opposite side whether the train went to Shinagawa.

The elderly man looked up from his book and said,

"This is the Mitaka train. The Shinagawa platform is over there."

"Really?" cried the young man, and rushed out again.

The elderly man gazed after him. "I'm good enough to tell him something," he muttered, "And he doubts what I say."

■この間、帰宅しようとして、東京駅から中央線の三鷹行きの始発に乗り、発車を待っていると、リュックサックを背負った若者が飛び込んで来て、私の筋向こうに掛けて本を読んで

いる老人に、

「この電車、品川へ行く？」ときいた。(8812)

★「この間」は the other day が一番いいと思います。他には some time ago とか a while ago も使えます。ただ a while ago は非常に短い時間にも使います。時間に関係なく何日か前という感じでは the other day がいいと思います。

★「帰宅しようとして」は結構難しい。in order to go home でも間違いではありませんが、これでは「・・・するため」という意味が強くて日本語とずれます。それか thinking to go home とか intending to go home などもかのうですが、ちょっと固い表現ですし、「ところが・・・」と後に何か支障をきたすようなことが起きるような感じを与えますから、ここは on my way home くらいが無難でしょう。

★「東京駅から～に乗る」は「東京駅で～に乗る」ということで get on ~ at Tokyo station です。

★「中央線の三鷹行き」は a Chuo line train for Mitaka です。

●「隠れ連体修飾節+体言」(東京駅から中央線の三鷹行きの始発)

「東京駅から中央線の三鷹行きの始発」は「東京駅を発駅とする中央線の三鷹行き電車」と言うことで、「連体修飾節(東京駅を発駅とする) + 体言(中央線の三鷹行き電車)」となります。したがって、英語では「名詞(a Chuo line train for Mitaka) + 関係詞節(which starts [starting] from there)」ですが、get on ~ at Tokyo station と組み合わせると、先行詞(a Chuo line train)と関係詞節(which starts from there)が離れ過ぎてしまいます。それで at Tokyo station が先行詞になるように where the line starts [begins]と変えることにします。

★「発車を待っている」は waiting for it to start でしょう。

●「[と]」(瞬時同時)

「待っている[と]、・・・」の[と]は、ここでは前が背景動作(過去進行形)になるの where…が一番いいでしょう。

★「リュックサックを背負った若者」は a young man [boy] carrying [with] a rucksack on his back でしょう。a young man [boy]の代わりに、ちょっと古めかしいですが a youth も使えます。

★「飛び込んで来た」は rushed in でもいいですが、came rushing in の方が自然です。辞書には bust in も出ていますが、これは突然ドアを開けて飛び込んできて中の人を驚かせるような場合とか、大きな音を立てて飛び込んでくるような場合に使いますが、電車ですからドアは開いているでしょうし、ちょっと大げさすぎるようです。

★「私の筋向こうに掛けて」はちょっと難しい。ボックス席の対面の席を the seat diagonally opposite me といいますが、ここで使ってもいいと思います。in the opposite seat でもいいでしょう。日本の電車の多くはベンチ式ですから、電車の場合の「私の筋向こうに」は in the seat a little way (down) (from me) on the opposite side という表現を使います。

★「本を読んでいる」は be reading a book です。

★「老人」は an elderly man がいいです。an old man はよほど年を取っている場合でしか使いません。

●「連体修飾節+不定代名詞的体言」(私の筋向こうに掛けて本を読んでいる老人)

「私の筋向こうに掛けて本を読んでいる老人」は「連体修飾節(私の筋向こうに掛けて本を読んでいる) + 体言(老人)」ですから、英語では「名詞(an elderly man) + 関係詞節(who was reading a book in a seat opposite side)」です。

★「この電車、品川へ行く？」は Does this train go to Shinagawa? (いつものこと) です。単純に「今以後のこと」だからとして Will this train go to Shinagawa? とすると、品川へ行くかどうかどう思うか、と尋ねる感じになります。たとえば、Do you go to school today? と違って Will you go to school today? と言えば、行くつもりがあるかどうかという意味になるのと同じです。それから Is this train for Shinagawa? は「品川行きか」と尋ねたことになって、ここでは使えませんが、Is this train all right [Is this the right train] for Shinagawa? とすれば使えます。それから、英語では地の文に直接話法を混ぜるのを好みませんから、間接話法にして he asked…whether the train was for Shinagawa とする方がいいです。ただ、こうすると、若者らしい言い方を表すことができません。英語では、直接話法はどう言ったかであり、間接話法は何を言ったかですから。

■老人は本から顔をあげて、

「これは三鷹行き。品川はあっちだ」と指すと、

「ほんと？」と叫んで飛び出していった。(8812)

★「本から顔をあげる」は look up from his book です。

★「これは三鷹行き」は This train is for Mitaka. とか This is the Mitaka train とかです。

★「品川はあっちだ」は「品川行きはあっちだ」とか「品川行きのホームはあっちだ」でしょう。前者なら The train for Sinagawa starts over there. ですし、後者なら The platform for Shinagawa is over there. でしょう。

★「指す」は、「あっちだ」と言って、あっちを指す」ということですから point to another [a distant] platform とか point in that direction でしょう。

★「ほんと？」は"Really?"です。

★「叫んで・・・」は shouted とか cried でしょう。

★「飛び出していった」は rushed out です。

● [て] (動作順次) [と] (同時)

「老人は本から顔をあげ [て]、『これは三鷹行き。品川はあっちだ』と指す [と]、『ほんと?』と叫んで飛び出していった。」の箇所は、直接話法を生かすと、英語では「伝達動詞」が必要になります。したがって、「老人は本から顔をあげ [て]、『これは三鷹行き。品川はあっちだ』と (へ言つ [て]) 指す [と]、『ほんと?』と叫ん [で] 飛び出していった。」と補うことになります。ところで、この箇所には [て] と [と] という連結辞が出てきます。簡単にすると「老人は顔をあげ [て]、・・・と言つ [て] ・・・す [と]、青年は・・・と叫

ん [で] ・・・ といった」で、要するに、「動作順次」なので、分詞構文とか「主動詞 + 句」とか、いろいろなつなぎ方が可能です。たとえば、

The elderly man, looking up from his book, said, "This is the Mitaka train. The Shinagawa platform is over there." "Really?" cried the young man, and rushed out again.

The elderly man looked up from his book, saying, "This is the Mitaka train. The Shinagawa platform is over there." "Really?" cried the young man, rushing out again.

Looking up from his book, the old man pointed a finger and said, "This train is for Mitaka. The train for Shinagawa starts over there." "Really?" shouted the young man, rushing out again.

など。どれを使っても間違いではないのですが、この文では、「言って指す」と「叫んで飛び出した」はいずれも重要な動作ですから、ここは句(分詞)ではなく述語動詞として表した方がいいです。

■そのうしろ姿に目をやって、老人は、

「人がせっかく教えてやったのに、うたがっている」と呟いた。 (8812)

★「そのうしろ姿に目をやって老人は・・・」も Gazing after him, the elderly man…とも書くことが出来ますが、The elderly man gazed after him and…とした方がいいです。Gazing…にすると、この部分のウエイトが非常に軽くなってしまうのです。

★「せっかく・・・してやる・わざわざ・・・する」には take the trouble to…とか、be good enough to…がここではいいかも知れません。なお be kind enough to…も使えなくはありませんが、ここは訊かれて答えたのですから obliging、つまり「率直に」という意味合いで good の方がいいと想います。

★「(せっかく) 教えてやった・・・」ですが、この日本語のニュアンスは「せっかくまともな・正しいことを教えてやった(のに)」ということだと思います。ですから tell him something がいいです。この something は、たとえば、This writer has something to say and she says it well. (この作家には言わんとしたいことがちゃんとあって、それをうまく表現している) のように使います。

★「うたがっている」は doubt it [what I said] です。ここで suspect me は使えません。これは「私が何か悪いことをしたのではないかと疑う・私が犯人ではないかと疑う」という意味になってしまいます。

◆現在時制と過去時制(せっかく・・・してやったのに、うたがっている)

ここは I take [took] the trouble to… and he doubts [doubted] it [what I said] と現在時制でも過去時制もいいです。ここで現在時制を使うと、たとえば、Look--this is what children are like nowadays. I give him a present and he doesn't even say thank you. といった場合のように、今起こったことを述べながらそれを一般化している〔常習と見る〕感じになるわけです。

★「呟いた」は muttered です。whispered は「囁いた」ですから、ここでは使えません。

grumbled は「小声でブツブツ言った」で、ここにぴったりです。